

令和2年6月12日

熊谷東小学校保護者各位

熊谷市立熊谷東小学校長 吉田 賢司

コロナ感染及び熱中症対策に伴う傘の有効活用について

保護者の皆様、日頃より児童の安心安全な教育活動推進についてご協力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、暑い夏を迎えるに当たり、コロナ対策と熱中症対策の両立を図るため、児童の登下校等において傘の活用を考えております。

【傘をさしてコロナ対策と熱中症対策の両立を図る利点】

- 1 日差しから身を守ることができる。
- 2 他の人と一定の距離を保っているため、通学班等においてもソーシャル・ディスタンスを保つことができる。
- 3 他の人と一定の距離を保っているため、マスクを着用しないで登下校が可能になり、熱中症対策となる。
- 4 周囲から目立ち、安全に登下校できる。
- 5 特別な費用がかからないで対策が図れる。

そこで、各家庭におかれまして、引き続き手洗い、うがい、水分補給やクールスカーフの活用等の自分たちを守る指導とともに、以下の注意事項について必ずご指導いただき、傘を有効活用しコロナ対策と熱中症対策の両立を図る活動についてご協力をお願いします。

【傘をさしてコロナ対策と熱中症対策の両立を図る時の注意事項】

- 1 学校の活動ではマスクは必ず持参してください。**
- 2 登下校における手荷物等の安全を考えて傘を活用してください。
- 3 傘をささない場合はマスクの着用をお願いします。
- 4 傘を振り回して遊ぶなど危険な使い方をしないよう指導してください。
- 5 透明なビニール傘は日傘としては使用に向きません。ご自宅にある色のついた傘で対応してください。

なお、この取り組みは、熊谷市小学校各校の実態に合わせ取り組むものです。熊谷東小学校では、基本的に日差しが強く熱中症の危険が大きくなる下校時に、傘の有効活用を指導して行います。朝の登校時も併せて任意の取組ですが、対応できるよう、置き傘の準備のご協力をお願いします。